

"FLOWERS" - Another Episode -

最期の夜

文:志水はつみ／絵:スキナミキ

——強い風がステンドグラスを叩くたびに身を竦ませてしまう。

いつも祈りへ来ている聖堂だというのに夜更けだというだけで空恐ろしく感じる。蠟燭の火が頼りなく辺りを照らし、柱の影や長椅子の死角に何者かが潜んでいるように思えた。神聖な場所である聖堂で恐れを抱くなんて不思議だとは分かっているけれど、風が建物を揺らし、ステンドグラスを叩く音を聴いていると物音ですら風音ではなく、何か得体の知れない者の吐息のようにも思えた。

私は落ち着くために膝の上に手を置いた。そして指で膝がしらをリズムをとって叩く。友人が何かに真剣に向き合おうとする時の癖だ。幾度か指を動かすと彼女になった気がして臆病な心が失せていった。そう、私の大切なアミティエの愛らしい癖。恐が失せた私は、仄暗い聖堂の中、瞳をつぶり彼女と出逢ったときを思う。春、桜舞う木の下で彼女は私を惚けたように見上げていた。初めての出逢い。そして、アミティエ同士となって——オリエンテーリングでは怪我をした私を見付け介抱してくれた。思えばあのときから心の中に友情以外の何かが芽生えていたのかもしれない。互いに苦手なバレエの授業。教え合ったあの時間は掛け替えのないものだ。そして、そして——

けれど、あの——聖母祭が私たちアミティエの仲を裂いてしまった。

私は……聖母役なんて望んでいなかったのに。聖母役に選ばれてからすべての歯車が狂つたかのように感じる。まるで何かに呪われたかのように。

頭を振り、邪な思いを消し去ろうとした。聖母様を悪しきもののように思うだなんて。かぶりを振ったことで影が大きく揺れ、その影の中から何かが横切るのが視えた。

凝つと目を凝らし眺めると、それは青い蝶のようだった。蝶は何かを探すように頬りなく舞っていたけれど——壁に吸い込まれるようにふっと消えてしまった。何処かの陰に隠れただけだと、錯覚だと思うも、何故だか厭な予感が遠い雷雲のように胸の中に沸き起った。

その予感は“彼女は来ないのでないか”という疑惑を抱かせた。

ようやくきちんと話せる機会を得たのに。

私は天上の主へと祈る。

“どうか、愛しいアミティエともう一度だけ逢い語らうことをお赦しください”と。



いつまでも一緒にいたいと想える人はいますか——

The tale of the girls who grow with a season.

FLOWERS

Le volume sur hiver

いつまでも一緒にいたいと 想える人はいますか――

《真実の女神に辿り着く為の鍵を教えよう》

八代譲葉の試練を乗り越えニカイアの会の会長と為った白羽蘇芳。

蘇芳は約束通り“始まりであり終わりの七不思議”の名を得た。

それが春に消えたアミティエ、匂坂マユリに繋がると。

冬月を迎えた聖アングレカム学院に起こる更なる苦難。

白羽蘇芳は友人たちの力を借り幾多の困難に立ち向かっていくが――――――

「――私のことは忘れてほしい」

願い求めていた彼女の言葉によって打ちのめされてしまう。

再び現れる義母の陰、すれ違う想い、思わぬ再会は彼女に何をもたらすのか。

終わりの季節がすべてを融かす――。



【制作スタッフ】

制作＆著作：有限会社グングニル ブランド：Innocent Grey
総監督＆原画：スギナミキ
シナリオ：志水はづみ グラフィック：とよ
ムービー：癸乙夜(Mju·Z) 音楽：MANYO
歌：霜月はるか・鈴湯

移りゆく4つの季節と共に紡がれる『FLOWERS』の物語

FLOWERS -Le volume sur printemps-

●発売日：2014年4月18日 ●価格：初回限定版4,800円[税別]

高い壁と深い森に囲まれたミッションスクール・聖アングレカム学院。乙女の園であるこの閉ざされた学院に、心に傷を持つ少女・白羽蘇芳が入学する。とある事情から内にこもり、家族以外の者と触れ合つたことのない彼女は、擬似的に“友人”を作らせ学院での生活を共にさせる“アミティエ”という試みに惹かれたのだ。学院からあてがわれた仮初めの友、そして彼女たちに向かられる仄かな恋心――。そんな中、生徒の不自然な消失、そして学院の七不思議と呼ばれる怪現象が噂され……



FLOWERS -Le volume sur été-

●発売日：2015年4月17日 ●価格：初回限定版4,800円[税別]

心に傷を持つ少女・白羽蘇芳。彼女は出逢いの季節“春”に自分を受け入れてくれる友人、そして恋人を持つことができた。しかし互いを赦し合つた恋人・匂坂マユリは理由を告げぬまま学院を去ってしまう。そして喪失感を悟られぬよう振る舞う蘇芳に、書痴仲間である八重垣えりかは密かに心を痛めていた。そんな中、初夏を迎えた学院にひとりの少女が転入してくる。彼女――考崎千鳥とえりかは最悪な邂逅を果たすのだが、やがてふたりは学院内で発生した奇妙な事件に挑んでいくことに。



FLOWERS -Le volume sur automne-

●発売日：2016年5月27日 ●価格：初回限定版4,800円[税別]

自分の前から去つたアミティエ・匂坂マユリを捜す決意をした白羽蘇芳は、その謎にあと一歩というところまで迫っていた。そんな彼女に、ニカイアの会の会長を引き継ぐなら求める鍵を与えると告げる八代譲葉。学院の謎を知る彼女は、困難な要求を突きつけ諦めさせようと考えたのだ。しかしそんな譲葉自身も、明かしてはならない“秘密”を抱えていた。幼なじみへの祝福されぬ慕情、向けられる恋心、様々な恋の糸が織りなし交錯する。そして学院では、またしても不可思議な事件が――。



■製品概要

タイトル
ブランド
ジャンル
価格
発売日
初回限定版

FLOWERS -Le volume sur hiver-
Innocent Grey(イノセントグレイ)
百合系ミステリADV
初回限定版4,800円[税別](DVD-ROM 1枚、AudioCD 1枚)
2017年9月15日(金)
①特製パッケージ仕様
②サウンドドラマCD「Candytuft(キャンディタフト)」同梱

■動作環境

対応OS
CPU
メモリ
VRAM
必要解像度
サウンド

日本語版Microsoft Windows 7(SP1以降)/8/10
必須：Core2Duo 1.8GHz以上/推奨：Core2Duo 2.0GHz以上
Windows 7(SP1以降)/8 必須：1GB/推奨：2GB以上
Windows 10 必須：2GB/推奨：4GB以上
256MB以上
1280×720、32bitカラー(ゲームウィンドウは1280×720の画面です)
Direct Soundに対応したPCM音源

多くの謎を孕んだまま、ついに再会を果たす少女たち

シラハネ
スオウ
白羽 蘇芳

CV：名塚佳織

眞実の扉を開く鍵を得る条件として、八代譲葉から課された試練を乗り越えた蘇芳。選挙での当選を勝ち取り、ニカイアの会の会長となった彼女はマユリの消息、そして学院の謎に迫りつつあったが、思うように調査が進まず次第に焦燥感を募らせていく。

花蘇芳（マメ科）

花言葉：「高貴」「質素」「不信仰」「裏切り」
「疑惑」「豊かな生涯」「目覚め」



コウサカ
勾坂 マユリ

CV：岡本理絵

何事にも前向きで明るく、クラスの中心人物だったマユリ。しかし夏を迎える前、彼女はアミティイである蘇芳や立花、そして級友たちにも別れを告げることなく、突然学院を去ってしまう。当初は家庭の事情で実家に帰ったと思われていたが……。

百合（ユリ科）

花言葉：「威厳」「純潔」「無垢」「華麗」「愉快」「賢率」



ハナビシ
リッカ
花菱 立花

CV：明島ゆうり

蘇芳をすぐ傍でサポートするべく、共に選挙戦へと臨みニカイアの会の副会長に就任。彼女と会を支えるため、日々奮闘している。焦燥を募らせていく蘇芳のことを心配しつつ、そんな状況にあっても自分を頼ってくれないことに寂しさを感じること。

ハナビシソウ（ケシ科）

花言葉：「私の希望を叶えて下さい」「私を拒絶しないで」

ササキ イチゴ 沙沙貴 莓

CV: 長妻樹里

秋に体験した様々な騒動を経て、少しだけ大人に近づいた莓。妹のことはもちろん、周りが気づかないような小さな変化も敏感に察するようになる。

莓 (バラ科)

花言葉: 「尊敬と愛」



ササキ リンゴ 沙沙貴 林檎

CV: 長妻樹里

姉の莓同様、ほろ苦い経験を経て成長し、姉のことを今まで以上に大切に思うようになった林檎。鋭い観察眼と独特的な感性で、蘇芳の活動を助ける。

林檎 (バラ科)

花言葉: 「名声」「選択」「評判」「選ばれた恋」



ダリア=バスキア

CV: 高城みつ

穏やかで包容力があり、生徒からは姉のように慕われている教師兼シスター。冬になり、なぜか時折り厳しい表情を見せるようになる。その理由は……。

ダリア (キク科)

花言葉: 「移り気」「華麗」「優雅」「威厳」「不安定」



タカサキ チドリ 考崎 千鳥

CV: 洲崎綾

えりかと日々良好な関係を築いている千鳥。蘇芳の手助けをする中、えりかが彼女を気に入っている理由を理解し、やがて図書談義をするほどの仲に。

紅千鳥 (バラ科)

花言葉: 「何て愛らしい」「気品」「高潔」「忠義」



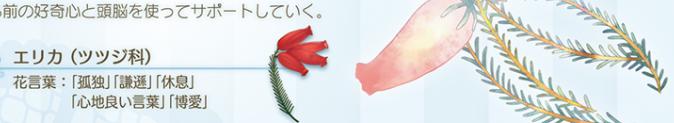
ヤエガキ 八重垣 えりか

CV: 佐倉綾音

蘇芳とは書痴仲間であり、学院では唯一胸襟を開く間柄。マユリの行方を調べることに懸命な蘇芳を、持ち前の好奇心と頭脳を使ってサポートしていく。

エリカ (ツツジ科)

花言葉: 「孤独」「謙遜」「休息」「心地良い言葉」「博愛」



共に学院を去った譲葉とネリネは――

冬の初め、幼い頃から想い続けてきたネリネと結ばれ、彼女と共に聖アングレカム学院から姿を消した譲葉。駆け落ちしたふたりは今、海の見える街で平穡な日々を送っている。ストーリーが完結する冬篇において、彼女たちのその後のエピソードは描かれるのだろうか……？



ヤツシロ コズリハ
八代 譲葉

CV: 瑞沢渓

コミカド 小御門 ネリネ

CV: 西口有香

※このCGは『FLOWERS』秋篇のものです。